

校長室だより **春日** (しゅんじつ)
校長 清武 直人

**おっ！めがでとう！
でございます**

梅の木の小枝に
おっ、芽がでとう！
桜の木の小枝にも
おっ、芽がでとう！
ケヤキの木の小枝にも
おっ、芽がでとう！



秋の終わりに落葉した木々の小枝には、
すっかり春の準備ができました。まだまだ
小さくてかたいのですが、梅の木の小枝に
も桜の木の小枝にも、暖かい春を待つ花の
芽がついています。
もうそこまで来ている暖かい風をじっと
待っているのです。

暖かい風に乗って咲かせる
君の夢の花の芽はついたかい
暖かい風に乗って咲かせる
君の希望の花の芽はついたかい
そっと、君の心の中を覗いてごらん

「おっ、芽がでとう」
なら、おめでとう！



僕の心を覗いてみたら

おっ、芽がでとう！
春日小学校にかける夢の芽が

挨拶日本一になる夢の芽が
遅刻が0になる日の夢の芽が
欠席が0になる日の夢の芽が

春の暖かい風に乗って
ふくらめふくらめ
この夢の芽
ひらけひらけ
この夢の芽

二羽の鳩

私が幼稚園児の頃、園長先生から聞いた
お話です。今から50年以上も前のこと
です。園長先生が畳の間に私たちを集めて
話しして下さいました。

「二羽の鳩が猟師に捕らえられ、かごの中
に入れられました。捕らえられた二羽の鳩
には、毎日たくさんのごちそうが出されま
した。一羽の鳩は、うれしそうによく食べ
ました。でも、もう一羽の鳩は、どんなに
ごちそうが出されても、一口も口にするこ
とはありませんでした。

次第に、一羽の鳩はまるまる太り、もう
一羽の鳩はげっそりとやせてしまいました。
ある日、まるまる太った鳩が、やせて
しまった鳩に尋ねました。

『どうして君は食べないんだい。こんなに
ごちそうがあるのに。』

すると、痩せた鳩はこう答えました。
『僕はもう一度あの空を飛んでみたいん
だ。』

それから幾日かたちました。やせ細った
鳩はますますやせてしまい、見る影もあ
りません。ところが、次の瞬間、その鳩は、
かごの隙間から体を滑らせ、大空へ飛び立
って行ったのです。」

自分の夢を実現するためには、時には苦
しいことにも耐えなければなりません。欲
しいものを手に入れるためには、我慢をし
なければならぬこともあります。

今思い返すと、園長先生は、とても大切
なことを教えてくださったと感謝してい
ます。

